

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】 (H28.12.31現在)

	12月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成28年度(今年度)	5件	44件	1人	18人
平成27年度(昨年度)	3件	64件	4人	19人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

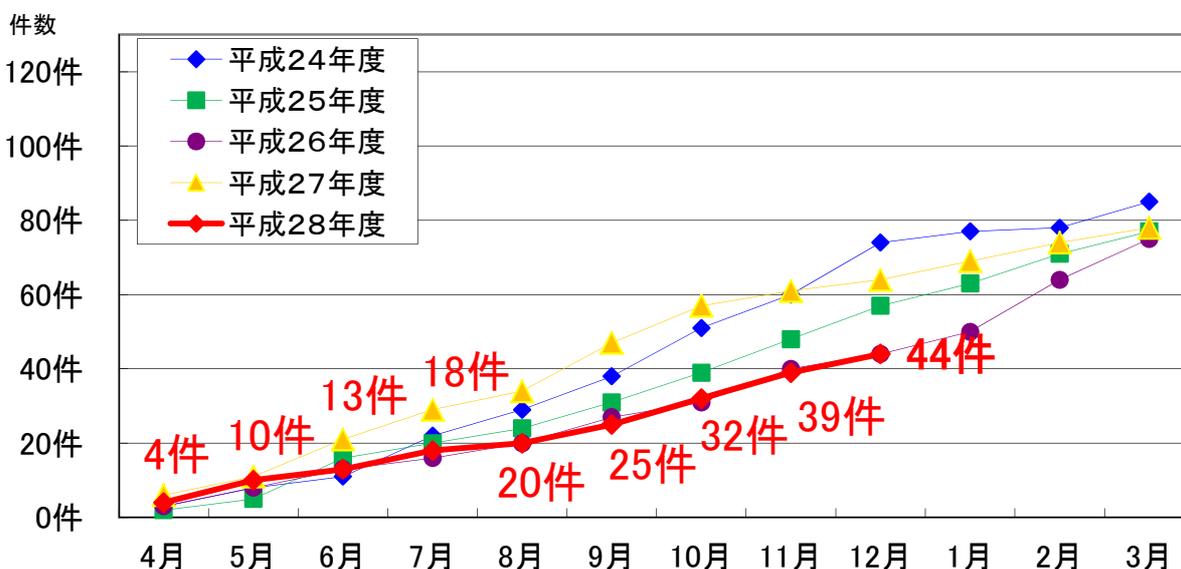
注2) 「12月発生件数」は、12/1～12/31の間に起きた件数。(月毎)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

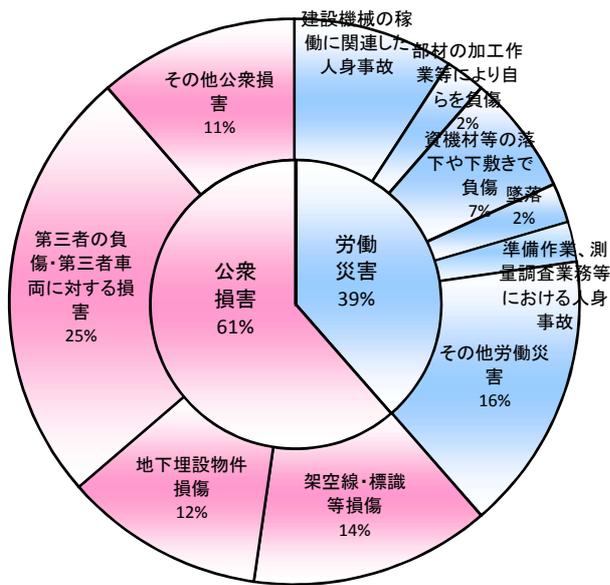
注5) 平成28年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事務件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度 累計	3件	8件	11件	22件	29件	38件	51件	60件	74件	77件	78件	85件
(月毎)	(3件)	(5件)	(3件)	(11件)	(7件)	(9件)	(13件)	(9件)	(14件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	44件	50件	64件	75件
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(4件)	(6件)	(14件)	(11件)
平成27年度 累計	6件	11件	21件	29件	34件	47件	57件	61件	64件	69件	74件	78件
(月毎)	(6件)	(5件)	(10件)	(8件)	(5件)	(13件)	(10件)	(4件)	(3件)	(5件)	(5件)	(4件)
平成28年度 累計	4件	10件	13件	18件	20件	25件	32件	39件	44件			
(月毎)	(4件)	(6件)	(3件)	(5件)	(2件)	(5件)	(7件)	(7件)	(5件)			

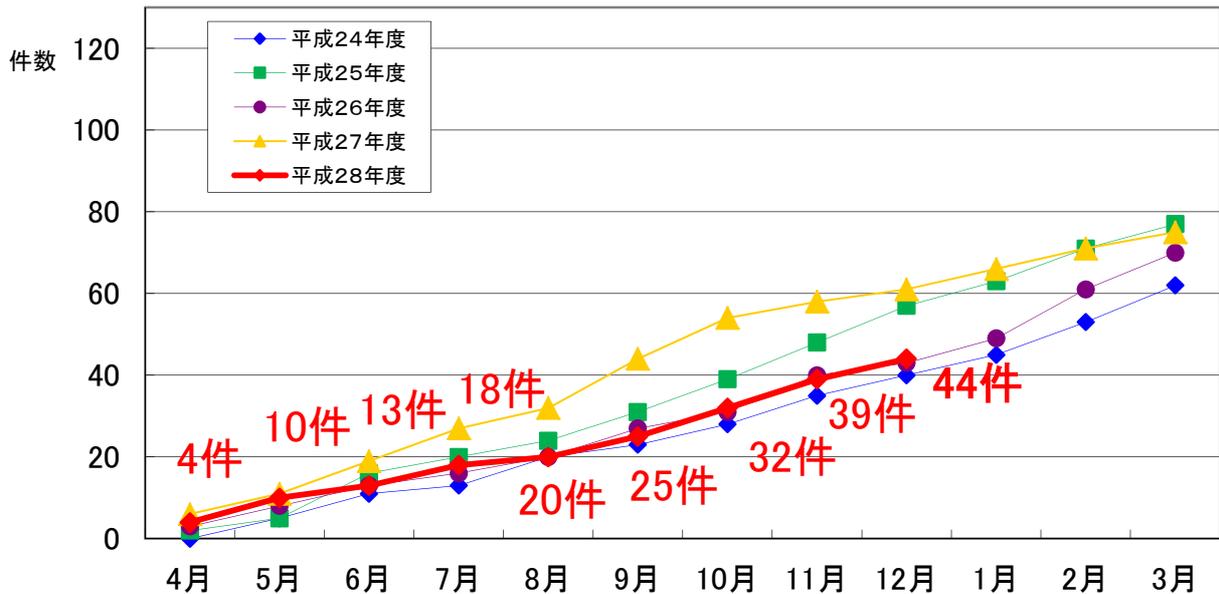
●平成28年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H26	H27	H28	過去3年間計
労働災害	建設機械等の稼働に関連した部材の加工作業等により自らの負傷	4	3	4	11
	部材の加工作業等により自らを負傷	2	1	1	4
	資機材等の落下や下敷きで負傷	4	2	3	9
	墜落	6	7	1	14
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	1	1
	その他労働災害	14	13	7	34
小計		30	26	17	73
公衆損害	架空線・標識等損傷	8	13	6	27
	地下埋設物件損傷	7	4	5	16
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	21	16	11	48
	その他公衆損害	8	14	5	27
小計		44	47	27	118
その他事故		1	5	0	6
計		75	78	44	197

□ H28年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度 累計(月毎)	2件(2件)	6件(4件)	8件(2件)	18件(10件)	23件(5件)	31件(8件)	42件(11件)	50件(8件)	63件(13件)	66件(3件)	67件(1件)	74件(7件)
平成25年度 累計(月毎)	2件(2件)	5件(3件)	16件(11件)	20件(4件)	24件(4件)	31件(7件)	39件(8件)	48件(9件)	57件(9件)	63件(6件)	71件(8件)	77件(6件)
平成26年度 累計(月毎)	3件(3件)	8件(5件)	13件(5件)	16件(3件)	20件(4件)	27件(7件)	31件(4件)	40件(9件)	43件(3件)	49件(6件)	61件(12件)	70件(9件)
平成27年度 累計(月毎)	6件(6件)	11件(5件)	19件(8件)	27件(8件)	32件(5件)	44件(12件)	54件(10件)	58件(4件)	61件(3件)	66件(5件)	71件(5件)	75件(4件)
平成28年度 累計(月毎)	4件(4件)	10件(6件)	13件(3件)	18件(5件)	20件(2件)	25件(5件)	32件(7件)	39件(7件)	44件(5件)			

■問合せ先:企画部 技術調査課 西村・古賀 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 28 年 12 月 7 日 (金) 15 時 30 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	ダンプトラック側面損傷
事故概要	堤防天端道路上流側から右折したダンプ(本工事運搬車両)が橋を左岸側から直進していたダンプ(事務所発注の別工事運搬車両)と接触し、相手方ダンプを損傷させたものである。 公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



- ・堤防天端道路上流側から右折したダンプ(本工事運搬車両)が橋を左岸側から直進していたダンプ(事務所発注の別工事運搬車両)と接触し、相手方ダンプを損傷させたものである。
- ・当該ダンプ運転手は、橋を直進してきたダンプを誘導員Bが止めるものと思って発進していた。
- ・誘導員Bは、大型車のダンプを直進させた後で、車間の空いていた一般車を停車させるつもりであった。
- ・当該箇所の運行のルールとしては、橋を左折する事としていたが、運転手は右折をした。

【事故発生原因】

- ・運行のルールを守らず、右折をした
- ・誘導員Bが一般車(別工事ダンプ)を停めていると判断した など

【事故防止のポイント】

- ・運行のルールを遵守するよう周知・徹底させる
- など

発生日時	平成 28 年 12 月 12 日 (月) 13 時 40 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	33	作業員	右前腕部3箇所骨折・裂傷(全治4ヶ月程度)
事故概要	土砂を改良機に投入するベルトコンベアに右腕を挟まれ、負傷			
労働災害－建設機械の稼働に関連した人身事故				

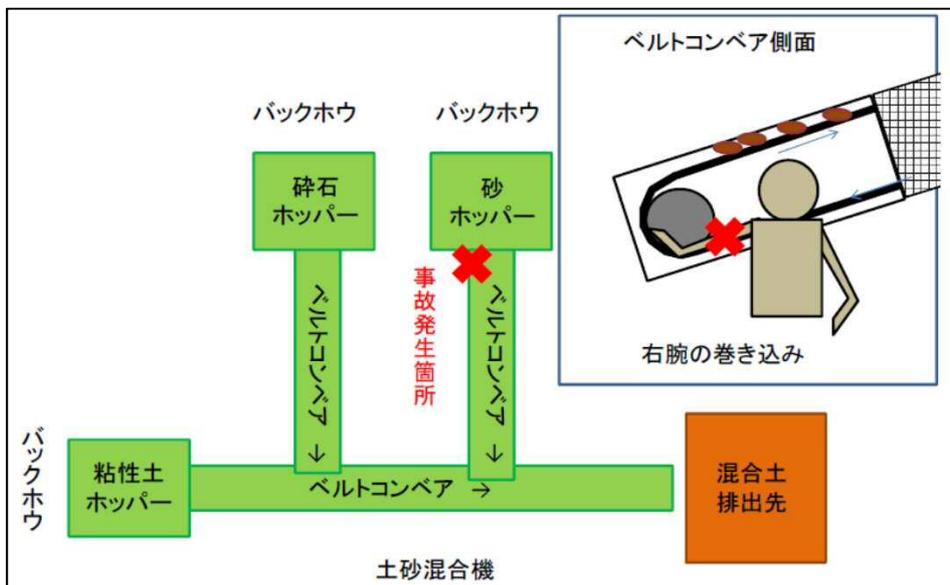
事故発生状況



・土砂改良ヤード(土砂改良機によって粘性土、砂質土、碎石の3種類を混ぜ合わせる)において、二次下請の作業員が、土砂を改良機に投入するベルトコンベアに右腕を挟まれた。

・作業員はベルトコンベアの張りを確認するために金網を外し、スクレーパー(器具)でベルトに触れたところ、腕が巻き込まれた。

・ベルトコンベアを停止していなかった



【事故発生原因】
 ・ベルトコンベアを停止せずにカバーを外し点検等をしていた など

【事故防止のポイント】
 ・危険な方法で点検等をさせないように周知徹底させる (適正なメンテナンス方法を周知する) など

発生日時	平成 28 年 12 月 14 日 (水) 5 時 0 分 前			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	一般車両損傷(タイヤパンク2本、ホイール1本)
事故概要	特殊部の掘削復旧部と既設舗装とに段差が生じ、走行中の車両のタイヤがパンク			
	公衆災害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



- ・電線共同溝(特殊部)を歩道と車道の間設置後、仮復旧を行い、交通開放したが翌日に、仮復旧部が沈下したため段差が生じ、走行中の一般車両の左前後タイヤがパンク破損し、左前輪ホイールが損傷した。
- ・特殊部を設置後に、埋戻し仮復旧を行なった際、転圧が不十分であったため、特殊部の周囲で沈み、段差(最大10cm)が生じた。
- ・舗装版の撤去範囲を誤ってしまい、特殊部を設置するのに時間がかかり、交通規制開放の遅れが生じてしまうので、埋戻し材料を所定の巻出し厚で転圧することができなかった。

【事故発生原因】

- ・埋め戻し転圧が不十分であったため沈下し、段差が生じた など

【事故防止のポイント】

- ・施工計画書どおりの適切な施工を実施させることを徹底させる
- ・段階確認を実施する など

発生日時	平成 28 年 12 月 16 日 (金) 15 時 5 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	水道管損傷(市町村管理)
事故概要	工事範囲を示すトラロープを張るピンで水道管を損傷し漏水発生			
	公衆損害—地下埋設物件損傷			

事故発生状況



- ・工事範囲を示すトラロープを張るピンで水道管を損傷し漏水発生
- ・水道管埋設位置と土被りの確認を事前に行っていなかった
- ・水道管の土被りが60cmあると先入観があった。
- ・9月9日にピンを設置しており、水道管移設のためのピンを抜いたところ、漏水した。

【事故発生原因】

- ・準備工時の確認が不足していたなど

【事故防止のポイント】

- ・図面等による事前確認を徹底させるなど